

大腸内視鏡検査に関する説明・同意書

1) 現在の病名、病状について：

便潜血反応陽性，下血，腹痛，大腸ポリープ・腫瘍の経過観察，炎症性腸疾患の経過観察
その他の病名 _____ の経過観察，その他： _____

2) 当該診療の目的と方法（麻酔等も含む）について：

目的： 肛門から内視鏡を挿入して直腸から盲腸（一部空腸の末端）まで挿入し、大腸の癌やポリープ，炎症の有無を調べます。

方法： 検査施行には腸管内の便を排泄させる**前処置**が必要ですので、各個人にあわせて**緩下剤**や**腸管洗浄剤**（ニフレックなど）を服用していただきます。**検査前日の午後9時より禁食**とします。検査当日の降圧剤・冠動脈拡張剤・抗不整脈薬・強心剤の内服はかまいません。前処置が終了した後に肛門から内視鏡を挿入して検査を行います。検査時間は通常20～30分位ですが、腸管の走行が難しい方、腹部の手術で大腸の癒着がある方などではさらに時間がかかることがあります。癒着などで疼痛が激しい場合は、検査を途中までで終了する場合があります。腸管の緊張をやわらげるために注射をする事があります。必要に応じて病変を見やすくする色素散布，**生検（組織の一部を取って病理組織検査や細菌検査）**，出血性病変の場合には止血**処置**などを行います。

3) 当該診療の予想される効果と合併症（有無とその程度）について：

効果： 病状の詳細な把握と治療方針の決定。

合併症： 学会の全国アンケート調査では、**合併症（偶発症）の発生頻度は0.069%**で、**主なものは出血や穿孔などです。死亡率0.00088%**と報告されています。出血の場合は内視鏡下に止血術を行いますが、大量出血の場合には**輸血**や開腹手術が必要になることがあります。腸管穿孔が起きた場合は、入院・安静・薬物療法、さらに多くの場合には開腹手術が必要になります。

その他、以前からある基礎疾患が悪化する事があります。前処置の緩下剤・腸管洗浄剤の内服により悪心、嘔吐，急激な下痢による血圧の低下，腸管狭窄がある方での腸閉塞や腸管穿孔の報告もあります。また、大腸の緊張を和らげるための注射の影響によってのどが渇いたり、目がまぶしく感じたり、尿の出が悪くなる症状を認めることがあります。**検査当日は自動車、バイク、自転車の運転はなさらな**
いで下さい。

★合併症・偶発症が発生した場合の費用も、原則保険診療となりますのでご了承下さい。

4) 当該診療方法以外の可能な診療方法とその利害得失について：

肛門からバリウム剤を注入してレントゲン撮影する注腸検査があります。注腸検査は大腸の全体像や隆起した所見を知るのに有用な検査で、合併症（偶発症）の頻度は低いですが、放射線被爆の問題があり、また病理組織検査が出来ません。一般的に診断精度も内視鏡検査に劣ります。

5) 当該患者の疾患の将来予測（予後）について：

検査結果をもとに、診断，治療方法を検討します。

6) 緊急時の処置に関する同意について：

病状に合わせた医学的処置を行います。緊急時は医師に御一任下さい。

合併症（偶発症）：消化管穿孔，大量出血などが起きた場合には最善を尽くして処置や治療を行います。必要があれば**輸血**や**緊急開腹手術**を行う場合もあります。

7) その他

・下記に当てはまる方は、事前に担当医へ申し出て下さい。

1. 局所麻酔薬およびその他の薬剤アレルギーのある方

2. 抗凝固薬や抗血栓薬を服用中の方

それらの薬剤を内服している場合、生検をするためにはあらかじめ数日～1週間程度中止して頂く必要があります。内服継続の場合は、原則観察のみで生検出来ませんので、必要な場合は後日再検査になります。担当医の指示に従って下さい。

3. 血液透析中、出血傾向のある方

4. 妊娠中、授乳中の方

5. 腹部の手術歴のある方、人工肛門のある方

6. 糖尿病でインスリン治療中の方

・検査当日の排便状況によっては大腸内視鏡検査前にレントゲン検査やCT検査が追加となる場合があります。

・検査後に各個人にあわせて注意事項や指導をさせていただきます。

・生検を行った場合、当日と翌日は禁酒していただきます。

・検査後でも、何か変わった症状があればご連絡下さい。

※検査当日は自動車、バイク、自転車での来院はやめてください！

8) 診療実施予定日： 平成 年 月 日

9) 麻酔〔 有 ・ 無 (いずれかに○印) 〕方法等について：

肛門部に局所麻酔剤含有ゼリーを使用します。

説明日： 平成 年 月 日

説明者： @USERSECTION 科 医師： _____ 印

私は、前記1)～9)の説明を受け、自由意志によりこの診療行為に同意しました。

平成 年 月 日

患者氏名： _____

記載者 (本人 ・ 代筆者)

本人・代筆者どちらかを○で囲んで下さい。

代筆者

氏名： _____

患者との続柄 (_____)

住所： _____

代筆理由 (_____)

私は、前記1)～9)の説明を受けました。

同席者氏名： _____

患者との続柄 (_____)

住所： _____

同席者氏名： _____

患者との続柄 (_____)

住所： _____

板倉病院病院長 殿